



2022年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月11日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東
 コード番号 7826 URL <https://www.furuyametals.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 榊田 裕之 TEL 03-5977-3377
 四半期報告書提出予定日 2022年5月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年6月期第3四半期の連結業績（2021年7月1日～2022年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第3四半期	31,754	39.9	10,924	80.7	10,996	79.1	6,740	69.7
2021年6月期第3四半期	22,699	37.7	6,046	127.1	6,139	126.0	3,971	114.4

(注1) 包括利益2022年6月期第3四半期 6,757百万円(70.1%) 2021年6月期第3四半期 3,972百万円(113.9%)

(注2) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年6月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第3四半期	966.65	962.68
2021年6月期第3四半期	599.47	596.40

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第3四半期	72,980		34,275			46.6
2021年6月期	55,690		28,497			50.7

(参考) 自己資本 2022年6月期第3四半期 34,024百万円 2021年6月期 28,226百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年6月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期	—	0.00	—	150.00	150.00
2022年6月期	—	0.00	—		
2022年6月期(予想)				150.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年6月期の連結業績予想（2021年7月1日～2022年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,400	25.3	12,300	17.7	12,500	18.4	7,800	13.2	1,118.57

(注) 直近に公表されている連結業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 P. 8 「1. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2022年6月期3Q	7,265,212株	2021年6月期	7,265,212株
2022年6月期3Q	287,426株	2021年6月期	297,726株
2022年6月期3Q	6,973,194株	2021年6月期3Q	6,624,711株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス変異株「オミクロン株」の感染急拡大により、個人消費では回復基調から再び停滞感が強まり、製造業では原材料や部品の供給制約によるサプライチェーンの混乱が見られました。

海外においても、新型コロナウイルス感染拡大を防止するための行動制限強化に加え、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う資源価格の上昇、想定外のインフレーション等、世界経済に深く影響を及ぼす事象が発生しております。

このような経済環境の中ではありますが、当社が関連する情報通信市場、半導体市場、エレクトロニクス市場は、引続き堅調に推移しました。

なお、弊社が取り扱う一部の貴金属価格は、高い水準ながらなだらかに低下してきましたが、足許価格上昇が見られ、当期の売上、利益に影響しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高31,754百万円（前年同四半期比39.9%増）、売上総利益13,126百万円（前年同四半期比64.5%増）、営業利益10,924百万円（前年同四半期比80.7%増）、経常利益10,996百万円（前年同四半期比79.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6,740百万円（前年同四半期比69.7%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、事業内容をより適正に表示するため、報告セグメントの名称を「センサー」から「サーマル」に変更しております。

①セグメント別の業績

[電子]

スマートフォンなどのSAWデバイス（必要な周波数信号を取り出すデバイス）や医療用シンチレーター（放射線に当たると、蛍光を発生する物質）に使用される単結晶育成装置向けイリジウムルツボや、光学ガラス向け並びに単結晶向けプラチナ製品が堅調に推移したものの、前期後半からの貴金属価格高騰の影響を受け、貴金属材料の販売につながる受注が減少したことに加え、前年同四半期のような大型イリジウム製品の受注もなく、売上高2,709百万円（前年同四半期比46.5%減）、売上総利益893百万円（前年同四半期比11.5%減）となりました。

[薄膜]

銀合金ターゲットの新用途向け受注が低調に推移したものの、データセンター用に使用されるHD向けルテニウムターゲットの受注が引続き堅調に推移し、受託成膜事業も順調であったことから、売上高9,621百万円（前年同四半期比54.2%増）、売上総利益4,831百万円（前年同四半期比139.7%増）となりました。

[サーマル]

世界的な半導体需要の高まりが続いており、半導体製造装置メーカーや海外半導体メーカーからの受注が引続き好調に推移しました。旺盛な需要に対応するため増産体制を構築し、高付加価値品の取込みを増やしたことで、売上高3,678百万円（前年同四半期比45.5%増）、売上総利益1,129百万円（前年同四半期比33.7%増）となりました。

[ケミカル]

一昨年実施した設備投資により精製・回収（リサイクル）や化学プラント向け触媒の受注が引続き好調に推移しました。有機EL向け化合物、電極向け貴金属化合物も好調に推移したことから、売上高14,706百万円（前年同四半期比119.0%増）、売上総利益5,745百万円（前年同四半期比101.2%増）となりました。

[その他]

当社製品の受注に紐付かない貴金属原材料の受注があったことにより、売上高1,038百万円（前年同四半期比51.8%減）、売上総利益525百万円（前年同四半期比58.0%減）となりました。

②海外売上

当第3四半期連結累計期間における海外売上高は18,132百万円（総売上高に占める割合は57.1%）となりました。地域別にはアジア向け売上高8,479百万円（海外売上高に占める割合は46.8%）、欧州向け売上高6,393百万円（海外売上高に占める割合は35.2%）、北米向け売上高3,259百万円（海外売上高に占める割合は18.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は72,980百万円（前連結会計年度末比17,290百万円の増加）、総負債は38,705百万円（前連結会計年度末比11,512百万円の増加）、純資産は34,275百万円（前連結会計年度末比

5,777百万円の増加)となりました。

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産残高は53,439百万円となり、前連結会計年度末比11,385百万円増加いたしました。これは受取手形及び売掛金が816百万円減少し、棚卸資産が12,416百万円増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産残高は19,540百万円となり、前連結会計年度末比5,905百万円増加いたしました。これは有形固定資産が5,865百万円増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債残高は30,522百万円となり、前連結会計年度末比10,074百万円増加いたしました。これは買掛金が2,134百万円、短期借入金が8,100百万円、1年内返済予定の長期借入金が625百万円、未払金が449百万円、設備関係未払金が456百万円それぞれ増加し、未払法人税等が1,591百万円減少したことが主な要因であります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債残高は8,183百万円となり、前連結会計年度末比1,438百万円増加いたしました。これは長期借入金が1,423百万円増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は34,275百万円となり、前連結会計年度末比5,777百万円増加いたしました。これは利益剰余金が5,695百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、本日公表しています「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,264	4,284
受取手形及び売掛金	5,477	4,661
商品及び製品	1,753	1,551
仕掛品	3,643	5,025
原材料及び貯蔵品	24,237	35,474
未収消費税等	2,559	1,845
その他	118	598
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	42,054	53,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,528	3,798
機械装置及び運搬具(純額)	5,166	10,449
土地	1,727	1,727
リース資産(純額)	90	69
建設仮勘定	1,471	1,787
その他(純額)	77	93
有形固定資産合計	12,062	17,927
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	148	198
その他	66	71
無形固定資産合計	215	269
投資その他の資産		
投資有価証券	20	19
繰延税金資産	1,167	1,139
その他	171	186
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,357	1,343
固定資産合計	13,635	19,540
資産合計	55,690	72,980

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,075	8,210
未払金	1,823	2,273
短期借入金	5,700	13,800
1年内返済予定の長期借入金	2,184	2,809
未払法人税等	3,850	2,259
賞与引当金	369	156
役員賞与引当金	116	—
設備関係未払金	76	532
その他	251	481
流動負債合計	20,447	30,522
固定負債		
長期借入金	5,518	6,941
退職給付に係る負債	731	763
資産除去債務	26	26
その他	469	452
固定負債合計	6,745	8,183
負債合計	27,192	38,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本剰余金	7,030	7,056
利益剰余金	17,172	22,867
自己株式	△1,412	△1,363
株主資本合計	28,236	34,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	2
為替換算調整勘定	△1	24
退職給付に係る調整累計額	△11	△8
その他の包括利益累計額合計	△9	18
新株予約権	92	83
非支配株主持分	179	167
純資産合計	28,497	34,275
負債純資産合計	55,690	72,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)
売上高	22,699	31,754
売上原価	14,721	18,628
売上総利益	7,977	13,126
販売費及び一般管理費	1,931	2,201
営業利益	6,046	10,924
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	128	—
受取家賃	11	10
デリバティブ評価益	0	421
その他	5	11
営業外収益合計	146	443
営業外費用		
支払利息	41	68
為替差損	—	298
その他	12	4
営業外費用合計	53	371
経常利益	6,139	10,996
特別損失		
投資有価証券評価損	8	—
特別損失合計	8	—
税金等調整前四半期純利益	6,130	10,996
法人税、住民税及び事業税	2,386	4,239
法人税等調整額	△211	27
法人税等合計	2,175	4,267
四半期純利益	3,954	6,729
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,971	6,740

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	3,954	6,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△1
為替換算調整勘定	13	26
退職給付に係る調整額	—	2
その他の包括利益合計	17	28
四半期包括利益	3,972	6,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,988	6,768
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	△11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取れると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、当社は、従来は輸出販売においては主に輸出通関時に収益を認識しておりましたが、主にインコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時に収益を認識することとしております。これによる影響額はありません。

なお、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、期首の利益剰余金に与える影響はありません。また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(追加情報)

(棚卸資産の固定資産振替)

当社グループは、保有する貴金属資産の利用実態を見直し、保有目的の変更により、棚卸資産と有形固定資産の間で振替えを実施しております。

当第3四半期連結累計期間において、保有目的の変更により、棚卸資産の一部を有形固定資産に振替えております。これにより「商品及び製品」が492百万円、「原材料及び貯蔵品」が4,565百万円減少し、「機械装置及び運搬具」が5,058百万円増加しております。また、「仕掛品」が8百万円増加し、「建設仮勘定」が8百万円減少しております。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)
	増減額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減額 (百万円)
商品及び製品	△265	△75	△492
原材料及び貯蔵品	△491	△218	△4,565
仕掛品	△13	△547	8
機械装置及び運搬具	756	293	5,058
建設仮勘定	13	547	△8

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1) (注2)	合計 (注3)
	電子	薄膜	サーマル	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,060	6,240	2,527	6,714	20,542	2,156	22,699
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,060	6,240	2,527	6,714	20,542	2,156	22,699
セグメント利益	1,009	2,015	844	2,856	6,725	1,252	7,977

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品や当社製品に紐付かない貴金属原材料の販売等であります。

(注2) 当社製品の受注に紐付かない一過性の貴金属原材料の大口受注があったことに加え、一部貴金属価格の想定を大きく上回る上昇によるものです。

(注3) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	ケミカル	計		
売上高							
日本	2,115	1,797	2,287	7,127	13,328	293	13,622
アジア (日本以外)	46	6,506	1,167	102	7,822	656	8,479
欧州	3	361	86	5,853	6,305	88	6,393
北米	543	955	137	1,622	3,259	—	3,259
顧客との契約から生じる収益	2,709	9,621	3,678	14,706	30,715	1,038	31,754
外部顧客への売上高	2,709	9,621	3,678	14,706	30,715	1,038	31,754
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,709	9,621	3,678	14,706	30,715	1,038	31,754
セグメント利益	893	4,831	1,129	5,745	12,600	525	13,126

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品や当社製品に紐付かない貴金属原材料の販売等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、事業内容をより適正に表示するため、報告セグメントの名称を「センサー」から「サーマル」に変更しております。

当該変更はセグメント名称のみの変更であるため、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、報告セグメントの名称変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。